



こんにちは!

由利本荘市議会です



西目っ子パワー全開! / 西目小学校運動会 (9月19日)

9月定例会

- 令和元年度決算を認定 ▶ P2
- 議論の中からピックアップ ▶ P4
- ここが聞きたい 一般質問 ▶ P8
- 第三セクター調査特別委員会中間報告 ▶ P14
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶ P16



290人の大運動会

由利本荘市議会だより
令和2年 / 2020年11月1日 第62号



本荘東中学校 3年
とむら ゆうと
戸村 優斗 さん
(町内名 赤沼)

車窓から見える未来

僕 の父は由利高原鉄道の車両整備をしています。以前、父の仕事を見せてもらったことがあります。乗客のために汗を流しながら電車の隅々を点検整備する姿を、とてもカッコいいと思いました。電車に乗ってみると乗り心地がよく、窓から見る由利本荘市の景色はとても美しかったです。鉄道は、お年寄りや学生など、自動車を運転しない市民にとって大切な交通手段です。今、羽後本荘駅舎の改築が進められています。新しい駅舎には東口ができるので、駅周辺の活性化が期待されています。また、構内のバリアフリー化により利便性が増すと聞いています。今後、電車の利用客がもっと増えて、さらに暮らしやすい由利本荘市になるように願っています。



鶴舞小学校 6年
さとう ねいろ
佐藤 音色 さん
(町内名 大鍛町)

私のまちの自慢「ごてんまり」

心 利本荘市の自慢のできる素晴らしいところは、ごてんまり、こけし、お祭りの大名行列、本荘ハムフライなどたくさんあります。私は、地域の活動に参加したり、学校で学んだりしてそれらに関わってきました。その中で、ごてんまりを祖母と一緒に作ったことがとても心に残っています。糸を重ねてめうところがとても大変でした。祖母のように上手にはできなかったけれども、模様が整い、きれいに仕上がったのを見たとき、苦勞して作った分、とても感激しました。このすてきなごてんまりの伝統がこの後もずっと残っていくように、私も素晴らしいさを伝えていきたいと思っています。

我がふるさと百宅

— 鳥海ダムによる移転にあたり —

1303年前(養老元年・717年) 8人によって開村された百宅に、鳥海ダム建設の話が出てから50年になります。令和元年9月5日、佐竹秋田県知事、長谷部由利本荘市長立ち会いのもと、国土交通省東北地方整備局長と補償基準に調印し移転に向けた住宅の解体が始まっており、移転先での慣れない生活不安と長年住み慣れたふるさとを離れる寂しさで複雑な心境ですが、百宅という地名の保存、歴史や文化の記録保存、記念碑建立などの取り組みをしておりますので市民の皆様及び市当局にはご支援ご協力をお願いします。

2028年には世界に誇れる鳥海ダムが完成し、地域の安全、安心を支えるとともに、そこに人々が集い、ダムや水源地域の役割を体現し、百宅の地名とその歴史を永く後世に語り伝えていただきたいと願っております。

まちの声から

鳥海地域
(町内名 百宅)

さとう いちたろう
佐藤 一太郎 さん

議会報編集特別委員会

委員長 佐々木 善一
副委員長 岡見 修一
委員 正木 岩夫
伊藤 英夫
今野 隆一
佐藤 義一
佐藤 義一
小松 浩一

編集後記

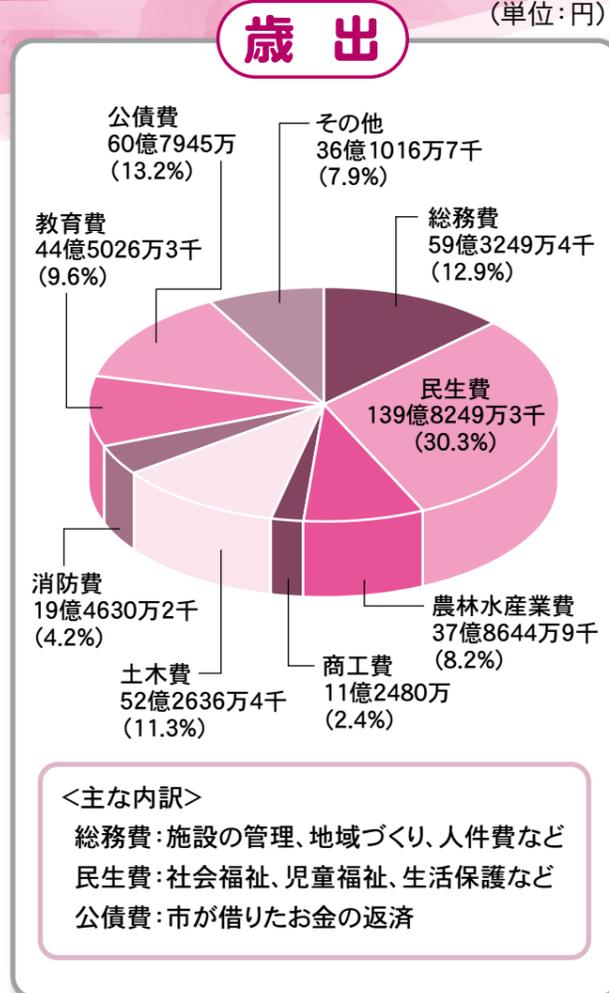
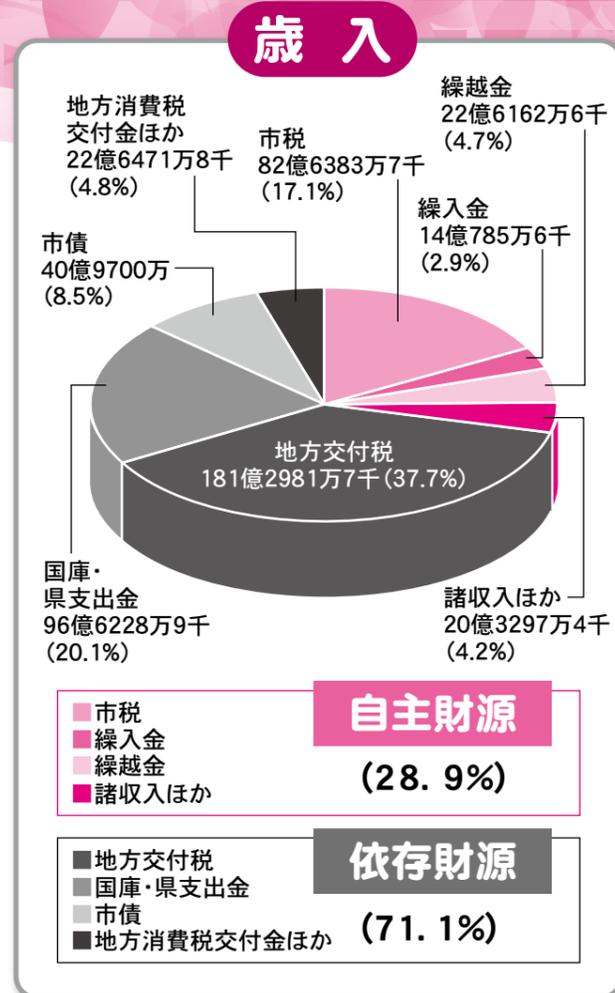
コロナ禍で多くの行事が中止となり、自宅に居る時間が長くなりました。こんな時は読書しがいありません。以前読んだ本を再読すると、新しい発見、喜びがあります。

詩人・茨木のり子もその1人です。彼女の残した詩集や散文を読むと、豊かで品格があり、時には優しく、時には社会を激しく撃つ言葉が読者を包み込みます。

まさに言葉で人間、社会を描くのが詩、文学。言葉で人間を救うのが宗教。そして言葉で人間社会を動かすのが政治です。

(三野英元)

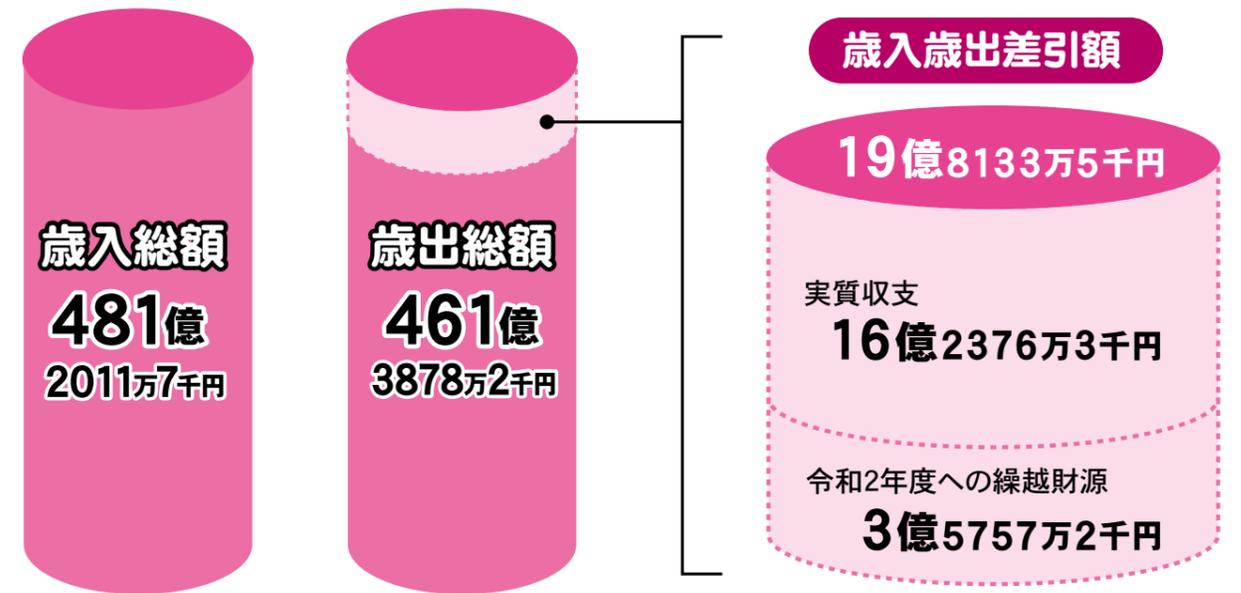
令和元年度 決算の内訳



令和元年度決算を認定

令和元年度 一般会計決算

実質収支は **16億2376万3千円** の黒字



13特別会計の状況

予算現額	歳入	歳出	歳入歳出差引額
161億7580万4千円	161億1296万5千円	157億6370万8千円	3億4925万7千円

13特別会計…国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、診療所運営特別会計、休日応急診療所運営特別会計、情報センター特別会計、奨学資金特別会計、介護サービス事業特別会計、下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、スキー場運営特別会計、小友財産区特別会計、北内越財産区特別会計、松ヶ崎財産区特別会計

企業会計の状況

区分	総収益	支出
水道事業	27億4084万667円	23億3675万9591円
ガス事業	11億8603万4688円	11億2501万8235円

市債残高の状況

年度比較	令和元年度	平成30年度
市債残高計	690億4万2千円	706億343万4千円
市民1人あたり	912,276円	919,507円
当該年度末人口	75,635人	76,784人



令和元年度 主な事業 (整備事業費)



西目こども園

整備事業費 4億8721万円



こどもプラザあおぞら

整備事業費 3億3912万円

ロタウイルス予防接種定期化

10月から定期接種を開始します。

(教)

問 なぜ定期化するのか。

答 ロタウイルスは、感染性胃腸炎の原因となるウイルスの1つで、乳幼児期にかかりやすく、感染するとまれに脳や腎臓に影響を及ぼすとされており、予防接種法施行令の一部を改正する政令が公布され、8月1日以降に生まれた0歳児の予防接種に全額助成する。

帰国者・接触者外来の設置期間

新型コロナウイルスの収束が見通せず、延長します。

(教)

問 いつまで延長するのか。

答 感染者が減少しつつあると毎日のように報道されるが、未だ収束には至らず、来年の3月末まで延長する。現在は毎週水曜日に開設しており、由利本荘保健所からPCR検査依頼のあった軽症患者を、ドライブスルー方式で唾液採取する。

地域工業振興事業

サテライトオフィス整備事業に補助します。

問 設置場所と実施主体は。

(産)

答 柔軟な働き方を推進するワークスタイルで、勤務先以外の場所に設置するオフィスを、県立大隣の本荘由利産学共同研究センター内に整備する事業への補助。本荘由利産学振興財団が実施主体となり、4社程度の誘致を目指している。



設置場所の本荘由利産学共同研究センター

消防用感染防止対策用資機材購入事業

感染症患者搬送時資機材の補完及び備蓄として購入します。

(総)

問 具体的には何を購入するのか。

答 新型コロナウイルス感染症の傷病者や濃厚接触者、感染が強く疑われる傷病者に対応する場合に着用する感染防護服セットのほか、N95防護マスク、非接触式赤外線温度計、消毒用エタノール、手指消毒用アルコール、ディスプレイ手袋、サージカルマスクを購入する。



感染防護服セット

除雪ドーザの購入契約

老朽化した除雪ドーザを更新します。

(建)

問 落札率が58.4%と低いが、契約にあたっての設計(予定)価格はどのように算定したのか。

答 設計価格及び予定価格の算出にあたっては、事前にメーカーから参考見積りをもらい、予定価格を3350万8200円とした。今回落札業者含め5社を指名した結果、コマツ秋田株式会社由利支店が1958万円で落札した。

光ファイバ整備事業

光ファイバ未整備地域の解消が図られます。

問 市内全域で整備されるのか。

(総)

答 民間事業者による光ファイバ未整備地域があった大内地域、東由利地域、及び本荘地域の石沢地区、松ヶ崎地区の整備に対し国庫補助金などを活用しながら整備費用の一部を負担するものである。これにより、光ファイバ未整備地域の解消が図られる。

9月定例会

議論の中からピックアップ



令和2年9月定例会を8月27日から9月18日までの23日間の会期で開催しました。

市提出案件は50件で、令和元年度各会計決算認定、人事案件、条例関係、契約締結、令和2年度補正予算などを審議し、原案のとおり認定、同意、承認、可決したほか、請願2件を採択、継続審査中の陳情を含む陳情3件のうち1件をみなし採択、1件を不採択、1件を継続審査としました。

また、議員発案2件のうち1件を原案のとおり可決、1件を継続審査とし、委員会発案(意見書提出)2件を原案のとおり可決しております。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

(総) … 総務常任委員会

(教) … 教育民生常任委員会

(産) … 産業経済常任委員会

(建) … 建設常任委員会

インフルエンザ予防接種

感染症等予防対策事業として助成します。

問 助成対象と助成額は。

(教)

答 新型コロナウイルスと同時期の流行が懸念されており、医療現場の負担軽減を目的に、乳幼児から64歳を任意予防接種の対象に、65歳以上を定期予防接種の対象とし、1回につき千円を助成する。



産地緊急支援対策事業

大雨による冠水・浸水被害を受けた水稲及びそばが対象になります。

(産)

問 支援内容は。

答 7月26日からの大雨により、冠水・浸水被害を受けた水田の水稲の病気発生予防に係る薬剤購入費、そばの再播種に係る種子購入費を補助。補助率1/2以内。



芋川氾濫長坂地内

7月、9月の豪雨災害復旧工事

7月及び9月豪雨に伴う災害復旧を行います。

問 2回にわたる復旧工事の規模は。

(建)

答 市が実施する豪雨に伴う災害復旧工事については、7月豪雨は本荘地域から北部、9月豪雨は東由利・鳥海地域を中心に、合わせて243カ所となるが、その内訳は河川71カ所、道路172カ所となっており、補正対応分として総額3億4100万円の事業規模となった。

県外大学生等応援事業

県外大学生などにふるさと農畜産物を贈ります。

問 対象者は。

(産)

答 本市出身で新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、帰省も出来ず頑張っている県外の大学生・短期大学生・専門学校生などにふるさと農畜産物を贈り、新型コロナに負けないように皆さんを応援する事業。申請が必要。